

## HTLV-Iキャリアーの実体把握に関する研究

(分担研究：献血者の抗ATLA抗体スクリーニング陽性者の検討)

池田久實<sup>1)</sup>、遠藤信義<sup>2)</sup>、渡部準之助<sup>3)</sup>、村瀬隆治<sup>4)</sup>、吉村敬次<sup>5)</sup>  
富田徳子<sup>6)</sup>、深田謙二<sup>7)</sup>、船本剛朗<sup>3)</sup>、西岡久壽彌<sup>3)</sup>、徳永栄一<sup>3)</sup>

### (要約)

献血血液の抗ATLA抗体スクリーニングは、昭和61年11月から凝集法(PA法)により実施されているが、今回、健康な日本人の抗ATLA抗体保有者を推定する基礎資料とするためPA法による献血者の抗ATLA抗体陽性者について、PA法の力価別に間接蛍光抗体法(IF法)による検査を行った。その結果、PAの高力価の陽性者についてはIF法で90%以上陽性を示したが、低力価の陽性者については2.6%にすぎないことが判明した。したがって、献血者のPA法によるスクリーニング成績から抗ATLA抗体保有者を推定するためには、低力価の陽性者について他の検査方法等による確認を行う必要がある。

### (方法)

北海道、東北、関東、中部、近畿、中国及び九州各地域の血液センター(7施設)で1カ月間に献血した122,315人(男子76,070人、女子46,245人)を対象として、PA法(試薬：セロディア-A T L A)による年齢別・性別抗ATLA抗体検査を行うとともに陽性者についてはその力価を測定した。ついで、PA法での陽性者についてIF法(Cell line: MT-2/Molt4)による検査を実施した。

### (結果)

#### I. 血液センター(7施設)の調査成績

PA法による抗体陽性率は、表1-1及び図1に示すとおり男性1.8%、女性2.2%であり、男性の16~19歳で1.2%が50~64歳で2.3%、女性の16~19歳で1.7%が50~64歳で3.0%と、加齢とともに陽性率が高くなる傾向がみられた。また、この傾向は、特に力価 $2^8$ 以上(以下、力価は最終希釈倍数で示す。)の陽性者群においてみられた。

1)北海道赤十字血液センター 2)宮城県赤十字血液センター 3)日本赤十字社中央血液センター 4)愛知県赤十字血液センター 5)大阪府赤十字血液センター 6)岡山県赤十字血液センター 7)福岡県赤十字血液センター

PA法陽性者のIF法による検査成績については、表1-2及び図2に示すとおりPA法の力価が $2^8$ 以上の陽性者の90%以上がIF法で陽性であるが、PA法の力価の低下とともにIF法の陽性率は下がり、力価 $2^4$ の陽性者では2.6%がIF法陽性であった。また、加齢とともにIF法の陽性率が高くなる傾向がみられるが、性差は認められない。

PA法による力価別陽性者数及び陽性率とIF法による陽性者数及び陽性率の度数分布は、図3のとおりPA法では、 $2^4$ より $2^5$ 、 $2^6$ と漸減し、 $2^7$ が最低となり $2^8$ 以上が最高の分布を示しているが、IF法では $2^8$ 以上が最高で、 $2^7$ 、 $2^6$ 、 $2^5$ 、 $2^4$ と減少している。

## II. 地域別の調査成績

表2~8に示すとおり、PA法による陽性率は、北海道1.6%、東北2.0%、関東2.3%、中部1.6%、近畿2.1%、中国1.5%、九州2.5% (non endemic areaの血液センター)であったが、九州地区及び近畿地区では陽性者のうちPA法による力価が $2^8$ 以上の陽性者の比率は、九州(52%)近畿(43%)と高く、また、IF法による陽性者の占める割合も50%以上と大きい。

### (考察)

従来より抗ATLA抗体のPA法による検査については、非特異反応による陽性がかかり含まれているとの報告<sup>1)</sup>がされているが、今回献血者についてPA法とIF法による比較検討を行った。

その結果、PA法による陽性者のうち力価が $2^8$ 以上の陽性者についてはその90%以上が

IF法で陽性を示すが、力価が $2^4$ の陽性者については2.6%にすぎず、それぞれ異なった分布曲線を示すことが判った。

また、PA法の力価 $2^7$ 以上では両者が一致する傾向にある。以上の結果から両者は対象を異にしている可能性が強い。

輸血の安全性を確保するため、低力価陽性者の血液を除外しているが、IF法で確認されたものを真の陽性と考えると、PA法低力価のものは真の抗ATLA抗体であるかどうか検討を要する。抗ATLA抗体陽性の献血者の約40%を占めるPA法による低力価陽性者については他の検査法による確認の必要がある。

### (文献)

1) 植松俊昭, 花田修一, 大塚真紀, 島崎隆, 桑水流康夫, 斉藤毅, 橋本修治, 新原正明: 抗ATLA抗体測定法に関する問題点, 日本輸血学会雑誌, 34, 587-591, 1988.

図1. 各世代における抗ATLA抗体 (PA法) の陽性率

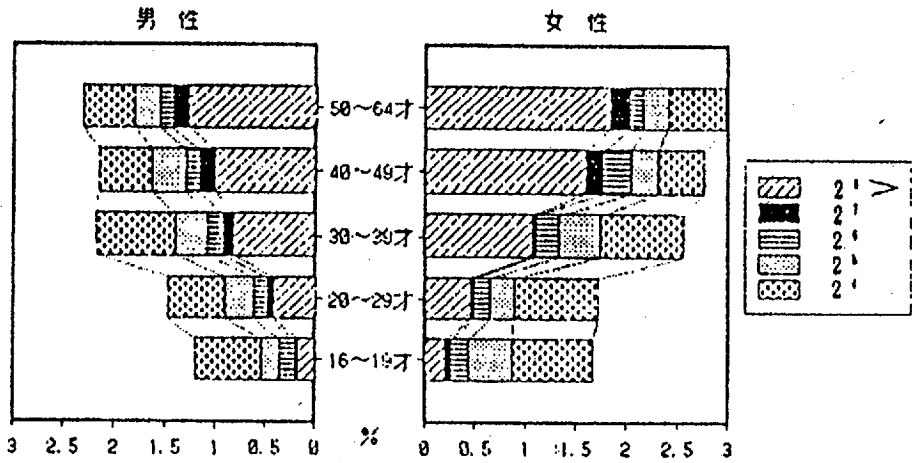


図2. PA法陽性中のIF法陽性の頻度

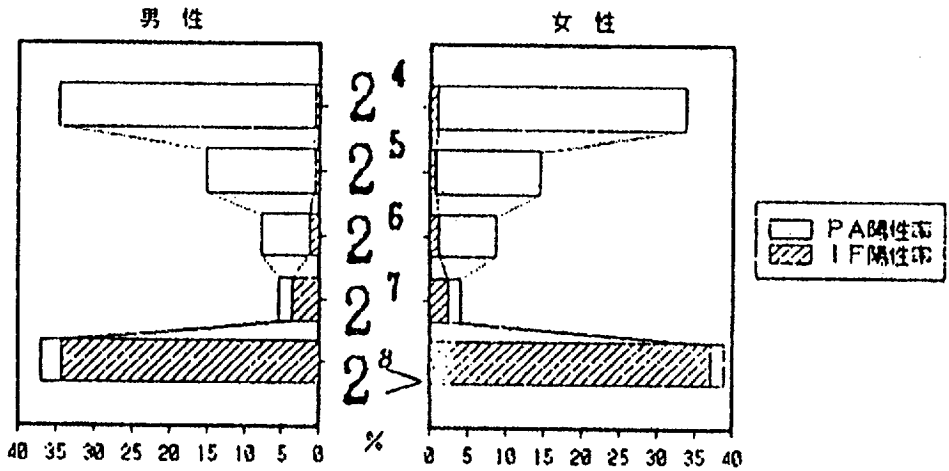


図3. 献血者122,315における抗ATLA抗体度数分布

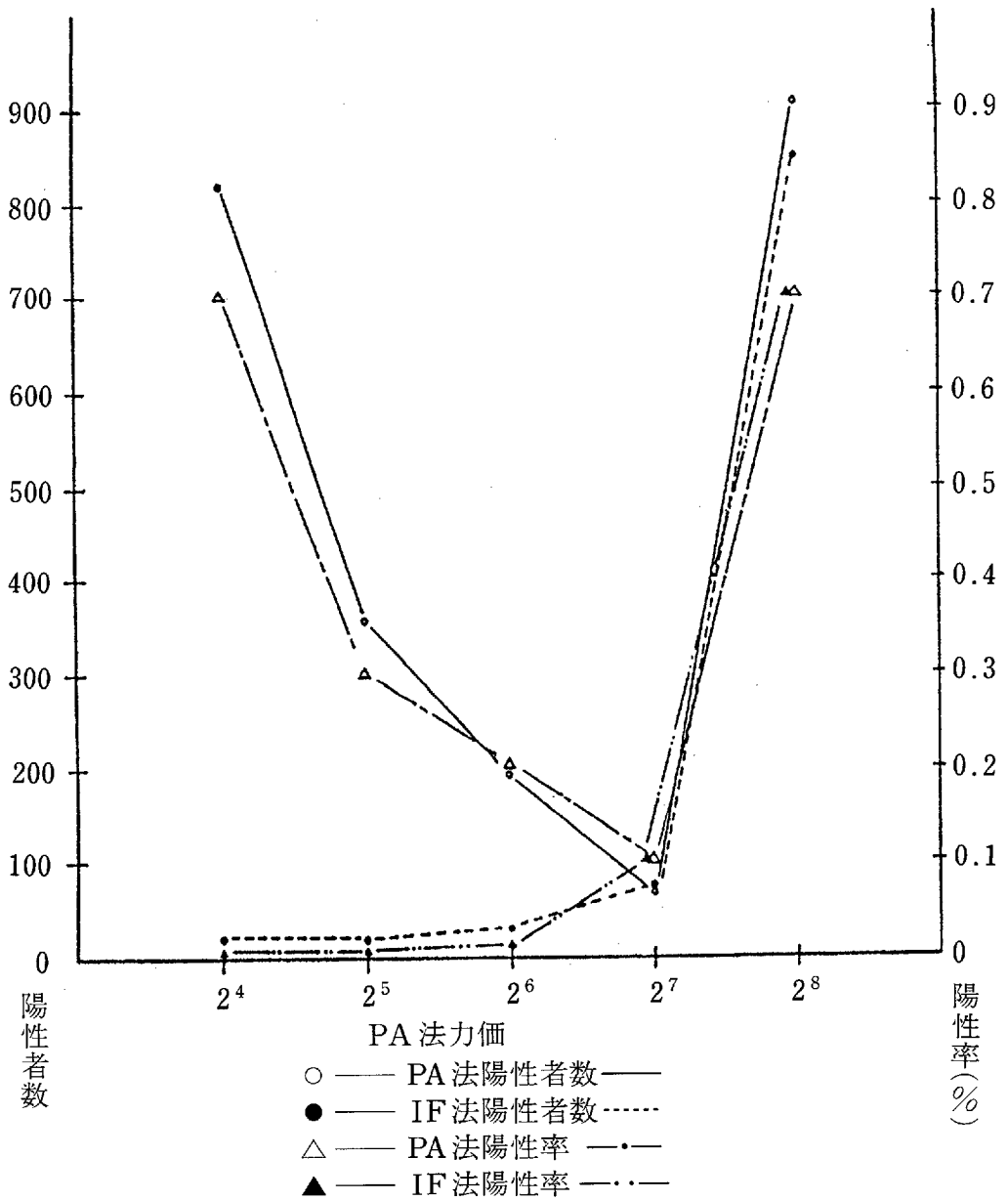


表1-1 献血者の抗ATLA抗体保有状況（PA法）

（7血液センター合計）

	年齢	検体数	PA法力価（最終希釈倍数）別陽性数					合計
			2 <sup>a</sup> ≥	2 <sup>7</sup>	2 <sup>6</sup>	2 <sup>5</sup>	2 <sup>4</sup>	
男性	16～19歳	11721	20	3	19	20	79	141(1.2%)
	20～29歳	22710	93	17	29	63	132	334(1.5%)
	30～39歳	19603	159	21	31	61	156	428(2.2%)
	40～49歳	14227	142	22	19	48	75	306(2.2%)
	50～64歳	7809	99	13	10	19	40	181(2.3%)
小計	76070	513 (0.7%)	76 (0.1%)	108 (0.1%)	211 (0.3%)	482 (0.6%)	1390(1.8%)	
女性	16～19歳	11084	23	7	19	47	89	185(1.7%)
	20～29歳	14789	67	6	24	35	123	255(1.7%)
	30～39歳	7126	76	3	16	29	59	183(2.6%)
	40～49歳	7353	117	13	21	19	34	204(2.8%)
	50～64歳	5893	108	12	8	14	33	175(3.0%)
小計	46245	391 (0.8%)	41 (0.1%)	88 (0.2%)	144 (0.3%)	338 (0.7%)	1002(2.2%)	
男女計	122315	904 (0.7%)	117 (0.1%)	196 (0.2%)	355 (0.3%)	820 (0.7%)	2392(2.0%)	

表1-2 献血者の抗ATLA抗体保有状況 (IF法)

(7血液センター合計)

	年齢	PA法力価 (最終希釈倍数) 別IF法陽性数						IF(+)
		$2^8 \geq$	$2^7$	$2^6$	$2^5$	$2^4$	合計	$\frac{\text{IF}(+)}{\text{PA}(+)} \times 100$
男 性	16~19歳	17	1	3	1	0	22	15.6%
	20~29歳	83	8	2	1	3	97	29.0%
	30~39歳	149	15	4	3	3	174	40.7%
	40~49歳	132	17	7	3	2	161	52.6%
	50~64歳	95	9	2	2	2	110	60.8%
小計		476 (0.6%)	50 (0.1%)	18 <0.1	10 <0.1	10 <0.1	564	40.6%
女 性	16~19歳	19	3	0	0	2	24	13.0%
	20~29歳	60	1	2	2	3	68	26.7%
	30~39歳	73	3	3	2	3	84	45.9%
	40~49歳	115	9	6	1	2	133	65.2%
	50~64歳	106	9	2	3	1	121	69.1%
小計		373 (0.8%)	25 (0.1%)	13 <0.1	8 <0.1	11 <0.1	430	42.9%
男女計		849 (0.7%)	75 (0.1%)	31 <0.1	18 <0.1	21 <0.1	994	41.6%

表 2 - 1 献血者の抗ATLA抗体保有状況 (PA法)

(北海道地区)

	年齢	検体数	PA法抗体価 (最終希釈倍数) 別陽性数					合計
			$2^8 \geq$	$2^7$	$2^6$	$2^5$	$2^4$	
男 性	16~19歳	1393	2	1	0	0	8	11(0.8%)
	20~29歳	2842	11	5	1	4	18	39(1.4%)
	30~39歳	2612	17	2	3	6	26	54(2.1%)
	40~49歳	1698	16	4	0	1	8	29(1.7%)
	50~64歳	1204	7	3	0	1	4	15(1.2%)
小 計		9749	53 (0.5%)	15 (0.2%)	4 <0.1	12 (0.1%)	64 (0.7%)	148(1.5%)
女 性	16~19歳	2074	4	0	3	3	16	26(1.3%)
	20~29歳	2457	5	0	2	1	25	33(1.3%)
	30~39歳	1264	9	0	2	3	6	20(1.6%)
	40~49歳	1138	13	2	3	3	5	26(2.3%)
	50~64歳	1019	13	1	0	2	10	26(2.6%)
小 計		7952	44 (0.6%)	3 <0.1	10 (0.1%)	12 (0.2%)	62 (0.8%)	131(1.6%)
男女計		17701	97 (0.5%)	18 (0.1%)	14 (0.1%)	24 (0.1%)	126 (0.7%)	279(1.6%)

表 2-2 献血者の抗ATLA抗体保有状況 (IF法)

(北海道地区)

	年齢	PA法抗体価 (最終希釈倍数) 別 IF法陽性数						IF (+) PA (+) ×100
		2 <sup>8</sup> ≥	2 <sup>7</sup>	2 <sup>6</sup>	2 <sup>5</sup>	2 <sup>4</sup>	合計	
男 性	16~19歳	2	0	0	0	0	2	18.2%
	20~29歳	8	2	0	0	0	10	25.6%
	30~39歳	15	1	0	0	0	16	29.6%
	40~49歳	13	2	0	0	0	15	51.7%
	50~64歳	7	2	0	0	0	9	60%
小 計		45	7	0	0	0	52	35.1%
女 性	16~19歳	3	0	0	0	0	3	11.5%
	20~29歳	5	0	0	0	0	5	15.2%
	30~39歳	8	0	0	0	0	8	40%
	40~49歳	12	2	0	0	0	14	53.8%
	50~64歳	13	1	0	0	0	14	53.8%
小 計		41	3	0	0	0	44	33.6%
男女計		86	10	0	0	0	96	34.4%



表 3-1 献血者の抗ATLA抗体保有状況 (PA法)

(東北地区)

	年齢	検体数	PA法抗体価 (最終希釈倍数) 別陽性数					合計
			$2^8 \geq$	$2^7$	$2^6$	$2^5$	$2^4$	
男性	16~19歳	1334	5	0	2	8	16	31(2.3%)
	20~29歳	1348	4	0	1	3	6	14(1.0%)
	30~39歳	1123	11	0	3	7	10	31(2.8%)
	40~49歳	704	11	0	0	2	2	15(2.1%)
	50~64歳	388	8	0	0	0	2	10(2.6%)
小計		4897	39 (0.8%)	0	6 (0.1%)	20 (0.4%)	36 (0.7%)	101(2.1%)
女性	16~19歳	1313	1	0	2	6	10	19(1.4%)
	20~29歳	828	3	0	1	1	7	12(1.4%)
	30~39歳	536	3	0	0	2	6	11(2.1%)
	40~49歳	369	3	0	1	1	3	8(2.2%)
	50~64歳	252	7	0	0	1	2	10(4.0%)
小計		3298	17 (0.5%)	0	4 (0.1%)	11 (0.3%)	28 (0.8%)	60(1.8%)
男女計		8195	56 (0.7%)	0	10 (0.1%)	31 (0.4%)	64 (0.8%)	161(2.0%)

表3-2 献血者の抗ATLA抗体保有状況（IF法）

（東北地区）

	年齢	PA法抗体価（最終希釈倍数）別IF法陽性数						IF(+) PA(+) ×100
		2 <sup>8</sup> ≥	2 <sup>7</sup>	2 <sup>6</sup>	2 <sup>5</sup>	2 <sup>4</sup>	合計	
男 性	16～19歳	3	0	0	0	0	3	9.7%
	20～29歳	4	0	0	1	0	5	35.7%
	30～39歳	11	0	0	0	0	11	35.5%
	40～49歳	8	0	0	0	0	8	53.3%
	50～64歳	8	0	0	0	0	8	80%
小計		34	0	0	1	0	35	34.7%
女 性	16～19歳	1	0	0	0	0	1	5.3%
	20～29歳	2	0	0	0	0	2	16.7%
	30～39歳	3	0	0	0	1	4	36.4%
	40～49歳	3	0	0	0	0	3	37.5%
	50～64歳	6	0	0	1	1	8	80%
小計		15	0	0	1	2	18	30%
男女計		49	0	0	2	2	53	32.9%

表4-1 献血者の抗ATLA抗体保有状況(PA法)

(関東地区)

	年齢	検体数	PA法抗体価(最終希釈倍数)別陽性数					合計
			$2^8 \geq$	$2^7$	$2^6$	$2^5$	$2^4$	
男 性	16~19歳	1582	1	0	5	1	17	24(1.5%)
	20~29歳	4191	12	3	7	17	45	84(2.0%)
	30~39歳	3144	17	4	7	12	39	79(2.5%)
	40~49歳	1980	19	3	4	8	18	52(2.6%)
	50~64歳	1024	12	0	1	3	8	24(2.3%)
小計	11921	61 (0.5%)	10 (0.1%)	24 (0.2%)	41 (0.3%)	127 (1.1%)	263(2.2%)	
女 性	16~19歳	1389	1	1	3	4	15	24(1.7%)
	20~29歳	2079	4	4	1	7	20	36(1.7%)
	30~39歳	616	3	0	2	2	16	23(3.7%)
	40~49歳	514	5	3	1	0	8	17(3.3%)
	50~64歳	472	10	1	0	3	6	20(4.2%)
小計	5067	23 (0.5%)	9 (0.2%)	7 (0.1%)	16 (0.3%)	65 (1.3%)	120(2.4%)	
男女計	16988	84 (0.5%)	19 (0.1%)	31 (0.2%)	57 (0.3%)	192 (1.1%)	383(2.3%)	

表4-2 献血者の抗ATLA抗体保有状況（IF法）

（関東地区）

	年齢	PA法抗体価（最終希釈倍数）別IF法陽性数						IF(+) PA(+) ×100
		2 <sup>8</sup> ≥	2 <sup>7</sup>	2 <sup>6</sup>	2 <sup>5</sup>	2 <sup>4</sup>	合計	
男 性	16～19歳	1	0	1	0	0	2	8.3%
	20～29歳	10	0	1	0	0	11	13.1%
	30～39歳	17	1	1	0	1	20	25.3%
	40～49歳	19	2	0	0	0	21	40.4%
	50～64歳	11	0	0	0	0	11	45.8%
小計		58	3	3	0	1	65	24.7%
女 性	16～19歳	1	0	0	0	0	1	4.2%
	20～29歳	3	0	0	1	0	4	11.1%
	30～39歳	3	0	1	0	1	5	21.7%
	40～49歳	5	1	0	0	1	7	41.2%
	50～64歳	10	0	0	1	0	11	55%
小計		22	1	1	2	2	28	23.3%
男女計		80	4	4	2	3	93	24.3%

表5-1 献血者の抗ATLA抗体保有状況(PA法)

(中部地区)

	年齢	検体数	PA法抗体価(最終希釈倍数)別陽性数					合計
			$2^8 \geq$	$2^7$	$2^6$	$2^5$	$2^4$	
男性	16~19歳	2070	4	1	4	1	10	20(1.0%)
	20~29歳	4449	15	4	8	8	23	58(1.3%)
	30~39歳	4229	26	1	4	11	27	69(1.6%)
	40~49歳	3376	17	4	1	17	14	53(1.6%)
	50~64歳	1543	12	1	2	2	13	30(1.9%)
小計	15667	74 (0.5%)	11 (0.1%)	19 (0.1%)	39 (0.2%)	87 (0.6%)	230(1.5%)	
女性	16~19歳	1593	1	1	2	6	13	23(1.4%)
	20~29歳	2478	14	1	3	3	18	39(1.6%)
	30~39歳	1272	11	1	3	9	8	32(2.5%)
	40~49歳	1401	19	1	5	6	3	34(2.4%)
	50~64歳	986	9	1	1	3	2	16(1.6%)
小計	7730	54 (0.7%)	5 (0.1%)	14 (0.2%)	27 (0.3%)	44 (0.6%)	144(1.9%)	
男女計	23397	128 (0.5%)	16 (0.1%)	33 (0.1%)	66 (0.3%)	131 (0.6%)	374(1.6%)	

表5-2 献血者の抗ATLA抗体保有状況（IF法）

（中部地区）

	年齢	PA法抗体価（最終希釈倍数）別IF法陽性数						IF(+) PA(+) ×100
		2 <sup>8</sup> ≥	2 <sup>7</sup>	2 <sup>6</sup>	2 <sup>5</sup>	2 <sup>4</sup>	合計	
男 性	16～19歳	4	1	1	0	0	6	30%
	20～29歳	14	1	1	0	3	19	32.8%
	30～39歳	24	1	1	1	1	28	40.6%
	40～49歳	17	3	0	1	1	22	41.5%
	50～64歳	11	1	0	1	2	15	50%
小計		70	7	3	3	7	90	39.1%
女 性	16～19歳	1	1	0	0	2	4	17.4%
	20～29歳	12	1	1	0	1	15	38.5%
	30～39歳	11	1	1	1	1	15	46.9%
	40～49歳	18	1	1	1	0	21	61.8%
	50～64歳	9	1	0	0	0	10	62.5%
小計		51	5	3	2	4	65	45.1%
男女計		121	12	6	5	11	155	41.4%

表6-1 献血者の抗ATLA抗体保有状況(PA法)

(近畿地区)

	年齢	検体数	PA法抗体価(最終希釈倍数)別陽性数					合計
			$2^8 \geq$	$2^7$	$2^6$	$2^5$	$2^4$	
男 性	16~19歳	1908	1	0	2	6	13	22(1.2%)
	20~29歳	6116	30	4	6	18	26	84(1.4%)
	30~39歳	5016	50	10	5	15	31	111(2.2%)
	40~49歳	4155	48	9	4	12	22	95(2.3%)
	50~64歳	2056	28	7	4	6	7	52(2.5%)
小計		19251	157 (0.8%)	30 (0.2%)	21 (0.1%)	57 (0.3%)	99 (0.5%)	364(1.9%)
女 性	16~19歳	1826	5	2	3	9	15	34(1.9%)
	20~29歳	4286	24	0	8	16	39	87(2.0%)
	30~39歳	1963	28	2	4	10	14	58(3.0%)
	40~49歳	2402	42	6	7	6	10	71(3.0%)
	50~64歳	1779	32	4	4	3	10	53(3.0%)
小計		12256	131 (1.1%)	14 (0.1%)	26 (0.2%)	44 (0.4%)	88 (0.7%)	303(2.5%)
男女計		31507	288 (0.9%)	44 (0.1%)	47 (0.1%)	101 (0.3%)	187 (0.6%)	667(2.1%)

表6-2 献血者の抗ATLA抗体保有状況（IF法）

（近畿地区）

	年齢	PA法抗体価（最終希釈倍数）別IF法陽性数						IF(+) PA(+) ×100
		2 <sup>8</sup> ≥	2 <sup>7</sup>	2 <sup>6</sup>	2 <sup>5</sup>	2 <sup>4</sup>	合計	
男 性	16～19歳	1	0	1	0	0	2	9.1%
	20～29歳	29	4	0	0	0	33	39.3%
	30～39歳	48	10	1	2	0	61	55.0%
	40～49歳	45	8	4	2	0	59	62.1%
	50～64歳	27	5	0	0	0	32	61.5%
小計		150	27	6	4	0	187	51.4%
女 性	16～19歳	5	1	0	0	0	6	17.6%
	20～29歳	23	0	0	0	1	24	27.6%
	30～39歳	27	2	1	1	0	31	53.4%
	40～49歳	42	4	4	0	1	51	71.8%
	50～64歳	31	4	0	0	0	35	66.0%
小計		128	11	5	1	2	147	48.5%
男女計		278	38	11	5	2	334	50.1%



表7-1 献血者の抗ATLA抗体保有状況 (PA法)

(中国地区)

	年齢	検体数	PA法抗体価 (最終希釈倍数) 別陽性数					合計
			$2^8 \geq$	$2^7$	$2^6$	$2^5$	$2^4$	
男 性	16~19歳	753	0	0	0	0	6	6(0.8%)
	20~29歳	1466	4	0	1	3	8	16(1.1%)
	30~39歳	1318	6	0	2	4	12	24(1.8%)
	40~49歳	902	6	0	4	4	3	17(1.9%)
	50~64歳	586	6	1	1	0	2	10(1.7%)
小計		5025	22 (0.4%)	1 <0.1	8 (0.2%)	11 (0.2%)	31 (0.6%)	73(1.5%)
女 性	16~19歳	745	2	0	1	4	4	11(1.5%)
	20~29歳	1103	5	0	3	1	5	14(1.3%)
	30~39歳	602	4	0	4	1	4	13(2.2%)
	40~49歳	585	6	1	2	2	3	14(2.4%)
	50~64歳	459	4	1	0	0	0	5(1.1%)
小計		3494	21 (0.6%)	2 (0.1%)	10 (0.3%)	8 (0.2%)	16 (0.5%)	57(1.6%)
男女計		8519	43 (0.5%)	3 <0.1	18 (0.2%)	19 (0.2%)	47 (0.6%)	130(1.5%)

表7-2 献血者の抗ATLA抗体保有状況 (IF法)

(中国地区)

	年齢	PA法抗体価 (最終希釈倍数) 別IF法陽性数						IF(+) PA(+) ×100
		2 <sup>8</sup> ≥	2 <sup>7</sup>	2 <sup>6</sup>	2 <sup>5</sup>	2 <sup>4</sup>	合計	
男 性	16~19歳	0	0	0	0	0	0	0%
	20~29歳	3	0	0	0	0	3	18.8%
	30~39歳	6	0	0	0	0	6	25%
	40~49歳	6	0	0	0	0	6	35.3%
	50~64歳	6	0	0	0	0	6	60%
小計		21	0	0	0	0	21	28.8%
女 性	16~19歳	1	0	0	0	0	1	9.1%
	20~29歳	5	0	0	0	0	5	35.7%
	30~39歳	4	0	0	0	0	4	30.8%
	40~49歳	6	1	1	0	0	8	57.1%
	50~64歳	4	1	0	0	0	5	100%
小計		20	2	1	0	0	23	40.4%
男女計		41	2	1	0	0	44	33.8%

表8-1 献血者の抗ATLA抗体保有状況(PA法)

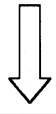
(九州地区)

	年齢	検体数	PA法抗体価(最終希釈倍数)別陽性数					合計
			$2^8 \geq$	$2^7$	$2^6$	$2^5$	$2^4$	
男 性	16~19歳	2681	7	1	6	4	9	27(1.0%)
	20~29歳	2298	17	1	5	10	6	39(1.7%)
	30~39歳	2161	32	4	7	6	11	60(2.8%)
	40~49歳	1412	25	2	6	4	8	45(3.2%)
	50~64歳	1008	26	1	2	7	4	40(4.0%)
小計		9560	107 (1.1%)	9 (0.1%)	26 (0.3%)	31 (0.3%)	38 (0.4%)	211(2.2%)
女 性	16~19歳	2147	9	3	5	15	16	48(2.2%)
	20~29歳	1558	12	1	6	6	9	34(2.2%)
	30~39歳	873	18	0	1	2	5	26(3.0%)
	40~49歳	944	29	0	2	1	2	34(3.6%)
	50~64歳	926	33	4	3	2	3	45(4.9%)
小計		6448	101 (1.6%)	8 (0.1%)	17 (0.3%)	26 (0.4%)	35 (0.5%)	187(2.9%)
男女計		16008	208 (1.3%)	17 (0.1%)	43 (0.3%)	57 (0.4%)	73 (0.5%)	398(2.5%)

表 8-2 献血者の抗ATLA抗体保有状況 (IF法)

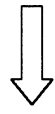
(九州地区)

	年齢	PA法抗体価 (最終希釈倍数) 別 IF法陽性数						IF(+) PA(+) ×100
		2 <sup>8</sup> ≥	2 <sup>7</sup>	2 <sup>6</sup>	2 <sup>5</sup>	2 <sup>4</sup>	合計	
男 性	16~19歳	6	0	0	1	0	7	25.9%
	20~29歳	15	1	0	0	0	16	41.0%
	30~39歳	28	2	1	0	1	32	53.3%
	40~49歳	24	2	3	0	1	30	66.7%
	50~64歳	25	1	2	1	0	29	72.5%
小 計		98	6	6	2	2	114	54.0%
女 性	16~19歳	7	1	0	0	0	8	16.7%
	20~29歳	10	0	1	1	1	13	38.2%
	30~39歳	17	0	0	0	0	17	65.4%
	40~49歳	29	0	0	0	0	29	85.3%
	50~64歳	33	2	2	1	0	38	84.4%
小 計		96	3	3	2	1	105	56.1%
男女計		194	9	9	4	3	219	55.0%



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



(要約)

献血血液の抗 ATLA 抗体スクリーニングは、昭和 61 年 11 月から凝集法(PA 法)により実施されているが、今回、健康な日本人の抗 ATLA 抗体保有者を推定する基礎資料とするため PA 法による献血者の抗 ATLA 抗体陽性者について、PA 法の力価別に間接蛍光抗体法(IF 法)による検査を行った。その結果、PA の高力価の陽性者については IF 法で 90%以上陽性を示したが、低力価の陽性者については 2.6%にすぎないことが判明した。したがって、献血者の PA 法によるスクリーニング成績から抗 ATLA 抗体保有者を推定するためには、低力価の陽性者について他の検査方法等による確認を行う必要がある。